

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【公開番号】特開 2020-144373 (P2020-144373A)

【公開日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-037

【出願番号】特願 2020-69167 (P2020-69167)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 28 日 (2020.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、液晶硬化膜を積層した光学異方性シートであって、
 基材の視野 $1 \mu\text{m}^2$ における表面粗さが 1.0 nm 以下であり、
 基材の水接触角が 70 度以上であり、

該液晶硬化膜は、サーモトロピック性のネマチック液晶を示す重合性液晶化合物の重合体を含んでなり、

該液晶硬化膜は、下記式 (1) 及び (2) を満たす光学異方性シート。

$$\frac{\text{Re}(450) / \text{Re}(550)}{1.00} \quad (1)$$

$$\frac{1.00 \text{ Re}(650) / \text{Re}(550)}{(2)}$$

($\text{Re}(450)$ 、 $\text{Re}(550)$ 、 $\text{Re}(650)$ はそれぞれ波長 450 nm 、 550 nm 、 650 nm の光に対する面内位相差値を表す。)

【請求項 2】

基材がポリエチレンテレフタレートを含む請求項 1 に記載の光学異方性シート。

【請求項 3】

基材と液晶硬化膜との間に配向膜を有する請求項 1 又は 2 に記載の光学異方性シート。

【請求項 4】

液晶硬化膜の厚さが $0.5 \sim 5 \mu\text{m}$ である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の光学異方性シート。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の光学異方性シートの液晶硬化膜表面に、粘接着剤層を形成し、その上に被転写物を積層した後に、前記光学異方性シートの基材を取り除いて、積層体を得る、積層体の製造方法。